

第3学年 国語科学習指導案

福岡市立当仁小学校 教諭 武田 文

1. **単元名** 場面をくらべながら読み、感じたことを伝える音楽物語をしよう「ちいちゃんのかげおくり」

2. 単元の目標

- 戦争中、家族とはぐれひとりぼっちになり、家族の帰りを信じて待ち続けるちいちゃんの様子や気持ちの変化を読み取り、作者の平和への願いに気づくことができる。 (知識・技能)
- 読書会を通して、自分が発表したいことを証拠の文と合わせて発表したり他の人の意見を聞いたうえで自分の意見や感想を述べたりし、伝えたい思いをもって音楽物語に取り組むことができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- 作者の伝えたいことや平和への願いを家族や地域の人に伝えたいという目的意識をもち、意欲的に音楽物語に参加することができる。 (主体的に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本教材は、戦争で家族とはぐれ、ひとりぼっちになったちいちゃんが、家族に会いたいという気持ちをもって「かげおくり」をし、最後には命まで送ってしまう物語である。最後の場面には、戦争後の現在の様子が描かれており、作者の平和に対する願いを読み取ることができる。文章構成の特徴としては、時間を表す言葉で時系列に描かれているので、場面を関連づけてちいちゃんの気持ちの変化を読み取ることに適している。また、表現上の特徴としては、ダッシュや繰り返されている表現に着目したり、中心文をもとに場面と場面をつないで読んだりすることで登場人物の様子や気持ちの変化を読み取ることができる教材である。さらに、ちいちゃんや、ちいちゃんの家族と自分を重ねて考えることで、平和の大切さを伝えていくことが誰もが安心して幸福に生活していくために必要であることに気づき、平和の大切さを伝えたいという行動変容が期待できる教材である。

(2) 児童観

本学年の子ども達は、「まいごのかぎ」の学習において、根拠となる叙述から登場人物の気持ちを考える学習をしている。その中で子ども達は、場面と場面をつないで考えたり、文章や言葉を自分なりに解釈したりすることができるようになりつつある。一方で、自分の考えを作る際に、根拠となる文を見つけたり、自分の言葉で考えを書いたりすることが苦手だと感じている子どもが半数ほどいる。また自分の考えに自信が持てず、全体に発表することに苦手意識を持っている子どもが4割ほどいる。中心文に疑問を作り、初めの読みの答えを読み確かめる学習は、前回の学習で経験しているが、中心文の決め方や中心文に疑問を作る力はまだ身につけていない。

(3) 指導観

指導にあたっては、初めに、読書の楽しみ方として、友だちと感想を伝え合う中で、感じ方の似ているところやちがうところを発見する読書会の楽しさを伝える。そして、単元の最後に、友だちとの読書会を通して、心に残ったことを伝え合うという目的意識をもたせ、単元名「場面をくらべながら読み、感じたことを伝える音楽物語をしよう」を伝える。

学習計画では、第一場面から第五場面のあらすじをまとめさせたあとで、1の場面と4の場面のかげおくりをそれぞれ比べて読み、共通点や相違点を見つけさせる。さらに、読み確かめていく計画を立てるために、各場面でちいちゃんの気持ちが一番表れている文を中心文としておさえ、疑問

を話し合い、ちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめていく計画を立てる。

読み確かめの段階では、各場面の中心文をもとに、ちいちゃんが家族とはぐれて、ひとりぼっちになったとき、家族が帰ってくると信じて待ち続けているときに、それぞれどのような気持ちになったのかが分かる叙述を見つけ、考えたことを書きまとめさせる。そして、ペア交流、全体交流において、中心文と考えの根拠となる叙述をつなげながら考えを広げさせる。最後の場面では、作者がわざわざこの場面を書いたわけを考えさせ、作者の平和への願いを読み取らせる。

読みのまとめの段階では、場面の移り変わりに気をつけて読み確かめたことを、掲示物を使って振り返らせる。そして、学んだことを活かし、「ちいちゃんのかげおくりはどんな物語だったのか」というテーマで自分の考えを、理由とともに文章に書きまとめさせ、読書会で交流させる。

最後に、児童一人ひとりが自分の伝えたい考えをもって、音楽物語に取り組み表現へとつなげるようにする。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

責任性…平和の大切さを伝えていくことが誰もが安心して幸福に生活していくために必要であること。私たちが自分のことだけでなく、周りの人やものことを尊重し理解し合って生活していくこと。

公平性…今の時代が平和であるからいい。昔のことではなく、時代を越えて、国を越えて大切なこと。世代内と世代間を考えている。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

多面的・総合的に考える力

ちいちゃん、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、読者、それぞれの立場の気持ちを考え、物語、台詞、歌を表現する。

コミュニケーションを行う力

「ちいちゃんのかげおくり」とはどんなかげおくりなのか?」について、自分の考えを創り、意見交流し、自分の考えを高める。

進んで協力する態度

「平和の大切さを伝える」ために、音楽物語を友だちと協力して創り上げる。

つながりを尊重する態度

地球上で戦争や紛争が起きることは、誰もが安心して幸福に生活する権利を奪っていることに気づき、自分にできることを今・未来と考え、行動していこうとする。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正

今の時代は戦争をしていないからいいではなく、時代を越えて大切なものは同じであること。

世代内の公正

自分の国は戦争をしていないからいいではなく、どの国の人にとっても大切であること。

人権・文化を尊重する

安全に平和に生活する権利は、誰にでもあること。

幸福感に敏感になる、幸福感を重視する。

自分と違う考えを尊重し、理解し合って、生活すること。

・達成が期待される SDGs

4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力	(ウ) 主体的に取り組む態度
<p>①戦争中、家族とはぐれひとりぼっちになり、家族の帰りを信じて待ち続けるちいちゃんの様子や気持ちの変化を読み取っている。</p> <p>②作者の平和への願いに気づいている。</p>	<p>①読書会を通して、自分が発表したいことを証拠の文と合わせて発表したり、他の人の意見を聞いたうえで自分の意見や感想を述べたりしている。</p> <p>②伝えたい思いをもって音楽物語に取り組んでいる。</p>	<p>①家族や地域の人に伝えるという目的意識をもち、意欲的に音楽物語に参加しようとしている。</p>

5. 学習計画（全11時間）

次	時	主な学習活動と内容	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
（つかむ・目的の明確化）	1	1 題名について話し合う。 ○題名や冒頭からどんな物語か想像する。	・題名の「ちいちゃんの」に着目させ、小さな子どもが出てくる物語であることを確認する。	△ア 題名や冒頭からどんな物語か想像し、感想を書くことができる。
		読みのめあて「ちいちゃんのかげおくり」とは、どんな物語なのだろう。		
	2 物語の全文を聞いて感想を書く。	・学習の最後に心に残った部分について感想をまとめ、友だちと伝え合い音楽物語をするという見通しをもたせ、単元名につなげる。		
単元名 場面をくらべながら読み、感じたことを伝える読書会をし、音楽物語で伝えよう。				
（見通す・	2	1 読書会のイメージをつくる (1) 読書会のモデルの動画を視聴する。	・読書会は違いに着目すると読みがより深まるものであることを確認させておく。	△ア 読書会のモデルから読書会のイメージを膨らますことができる。
		2 国語辞典を使って言葉の意味を調べる。	・全文読みの際に、意味が分からない語を確認させておく。 ・「出征」「先祖のはかまいり」「いくさ」などの語句について教師が補足説明する。	
（見通す・	3	場面をつないであらすじを考える。	・一行空きに着目させ、5つの場面に分けられていることを確認させる。	

(ま と め る)	4	<p>1 2つのかげおくりをくらべて感じたことを書く</p> <p>(1) 1の場面と4の場面を音読する。</p> <p>(2) 2つのかげおくりの同じところと違うところを考える。</p> <p>(3) 二つのかげおくりをくらべて感じたことをプリントに書く。</p> <p>2 2つのかげおくりについて考えたことを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じところには青線、違いがよく分かるところには赤線を引かせて区別できるようにする。 ・それぞれのかげおくりはどんなかげおくりか気づいたことを友だちに話すように声かけをする。 	<p>△ア</p> <p>ちいちゃんの様子や気持ちの変化を読み取ることができる。</p>
	5	<p>2つのかげおくりの間にはどんなできごとがあったか読みまとめる。</p> <p>(1) 2の場面を読んで出来事を確かめる。</p> <p>(2) 3の場面を読んで出来事を確かめる。</p> <p>(3) 4の場面を読んで出来事を確かめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ダッシュを読む誰もが必死になって逃げている様子をとらえさせる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>似た言葉と比べて読む 知っている人が誰もいなくて孤独な様子であることをとらえさせる。</p> </div>	<p>△ア</p> <p>ちいちゃんの様子や気持ちの変化を読み取ることができる。</p>
	6	<p>4の場面を読み取り、ちいちゃんの様子や気持ちについて自分の考えを書き、話し合う。</p> <p>(1) 4の場面のちいちゃんはどうな気持ちか考える。</p> <p>(2) ちいちゃんは幸せだったのかということについて自分の考えを書く。</p> <p>(3) 読書会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんの内心情が分かる表現に注目させる。 ・友達の考えを聞いて、似ているところや違うところを交流させる。 	<p>△ア</p> <p>ちいちゃんの様子や気持ちの変化を読み取ることができる。</p>
	7	<p>4までの場面と5の場面を比べて読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4までの場面と5の場面を比べて、作者がわざわざこの場面を書いたわけを考えさせ、作者の平和への願いを読み取らせる。 	<p>△ア</p> <p>ちいちゃんの様子や気持ちの変化を読み取ることができる</p>
	8	<p>物語を読んで感じたことを書く。</p> <p>(1) ちいちゃんのかげおくりはどんな物語か自分の考えを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習をふり返り、ちいちゃんの行動や気持ちをもとに自分の考えを書かせる。 	<p>△ア 作者の平和への願いに気づくことができる。</p>

9 (本時)	<p>1 読書会をして、グループで交流する。</p> <p>2 読書会をすることで、自分の読みや考えを深めることができることをまとめる。</p>	<p>・友だちの感想を読んで、考えが変わったところを伝え合うことで、一人ひとりの感じ方には違いがあることに気づくようになる。(交流グループの工夫)</p>	<p>△イ感じたことや考えた事を共有し、一人ひとりの感じ方には違いがあることに気づく。</p>
-----------	--	---	---

自分の読みのめあての答え「ちいちゃんのかげおくり」はどんな物語なのか自分の考えを書く。

10	<p>1 音楽物語「ちいちゃんのかげおくり」の計画をたてる。</p> <p>2 音楽物語を発表する。</p>	<p>○登場人物の様子や気持ちを振り返りながら、表現の仕方考えることで、作者の願いや自分の伝えたい考えを表現に生かすようにする。</p>	<p>△イ伝えたい思いをもって音楽物語に取り組むことができる。</p> <p>△ウ平和の大切さを伝えたいという気持ちをもって意欲的に音楽物語に参加しようとしている。</p>
----	--	--	--